

リレーエッセイ

ハードルを越えて

ありま えみ
有馬 恵美さん
(鹿児島市)



コーチであるお父さんと

私が生まれる時、逆子だったことから難産だったと聞いています。2歳近くなるまで言葉が話せず、障害が残っていることが分かったそうです。水泳のコーチをしていた父はプールで泳ぎを教えてくれたり、お風呂でよく遊んでくれました。1歳から水泳を始めていたおかげで、弱かった足にも力がつき、リハビリにつながっていきました。小学校の水泳大会では健常者と同じくらいの成績を収めることもあり、「自分にもできる」と自信が持てるようになりました。高校は自分と同じ障害を持つ同級生が多かったことで心の励みになり、卒業後は薩摩川内市の障害者職業能力開発校に入学し、寮生活がスタート。車の運転免許の取得時は、母が学科試験の勉強をつきっきりで教えてくれました。自分のことは自分でできるようになったのも、この頃からだだったと思います。

現在の職場である「特別養護老人ホーム錦江園」には、障害者ははじめての受け入れということで就職させていただきました。最初の1年間、職場の方々と中々コミュニケーションがとれず苦労しましたが、それでも仕事を休まず、いつも明るく接しているうちに、スタッフの皆さんとも打ち解けていき、洗濯や掃除などの業務を担当し、うまくこなせるまでに成長できたと思っています。

水泳の練習は週に3回1時間ずつしています。もちろんコーチは父。全国大会出場が決まったときは、職場のスタッフの人たちも横断幕を作って応援してくれました。2005年、第5回全国障害者スポーツ大会の「おかやま大会」では25mバタフライを日本新記録達成で優勝。2009年、「トキめき新潟大会」でも25m・50mバタフライともに金メダルを獲得。「頑張ったから道が開けたんだ」と思うと自信がわいてきてとても嬉しかったです。応援してくれた職場のスタッフ、原田学園の皆様にとっても感謝しています。

これからの目標は、12月に鹿児島県マスターズ大会、全国大会は2年後に控えています。夢は鹿児島県を代表して、パラリンピックに出場。世界を目指すことです。そして、もう一つの夢は、結婚して相手を幸せにしたい。私に愛情いっぱい育ててくれた両親のように、人を幸せにできる人間になりたいと思っています。

●有馬 恵美さん
鹿児島市生まれ、22歳。
2005年全国障害者スポーツ大会
バタフライで優勝（日本新記録達成）、
2009年も25m・50mともに優勝。
特別養護老人ホーム錦江園勤務。



ダイナミックな恵美さんの泳ぎ



「おかやま大会」「トキめき新潟大会」の金メダル

調査票の入手方法

「ありば」20号の冊子に数枚挟んであるほか、鹿児島県ホームページ（下記アドレス）からダウンロードできます。

<http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/syogai-syakai/machi/kohoshi/ariba-anketo.html>

「本件連絡先」に連絡いただければ、郵送にて送付させていただきます。

調査票の提出方法

メールにより下記アドレスに送付いただくほか、「本件連絡先」に郵送等にて提出してください。

s-chiiki@pref.kagoshima.lg.jp

なお、「本件連絡先」に連絡いただければ、返信用封筒を送付します。

調査期間

平成23年1月31日（月）まで

本件連絡先

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
鹿児島県 保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援係
TEL 099-286-2746 FAX 099-286-5558
メール s-chiiki@pref.kagoshima.lg.jp

「ありば」についての皆様の声をおきかせください

- 県では、福祉のまちづくり広報誌「ありば」についての意見等をいただき、今後の誌面づくりの参考とさせていただきます。
- アンケート調査を実施しています。
- アンケート調査に御協力くださるようお願いいたします。
- なお、アンケートに協力いただき住所・氏名が記入されている方の中から抽選で3名の方に、「花かごしま2011」のマスコットキャラクター「ぐりぶー」のストラップを贈呈させていただきます。



第28回全国都市緑化かごしまフェア
マスコットキャラクター
ぐりぶー

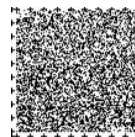
第28回全国都市緑化かごしまフェア(愛称：花かごしま2011)

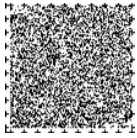
平成23年3月18日（金）～5月22日（日）

メイン会場：吉野公園

サブ会場：鹿児島ふれあいスポーツランド

※障害者手帳所持者及び介護者1名については入場無料となります。





鹿児島島のいろいろな建物や施設、
あるいは人の心の中にあるバリアが取りはらわれています。
一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

KAGOSHIMA

バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen

東横イン鹿児島中央駅西口



●2011年の新幹線全面開通を目前に控え、にぎわいを見せる鹿児島中央駅。その西口に2010年3月18日にオープンしたのが、ビジネスホテル「東横イン鹿児島中央駅西口」だ。観光やビジネスの拠点として人気が高く、朝食サービスやネット接続も無料で利用できる。
ここで注目を集めているのが、車イスのお客様が快適に宿泊できるように設計された「ハートフルルーム」。

車イス使用者の目線で考えられた人気の「ハートフルルーム」

東横イン鹿児島中央駅西口

(鹿児島市)

住所 鹿児島市 西田2-28-10

TEL 099(814)1045

FAX 099(814)1046

ホームページ <http://www.toyoko-inn.com/>

チェックイン 16:00

チェックアウト 10:00

シングルルーム 5,250円(税込)

ハートフルルーム(ツイ) 7,350円(税込)

「ハートフルルーム」



に合計3室がある。バリアフリーのツインルームで、浴室と洗面・トイレが別々に設計されている。
広めのドアは外開きで、取っ手は使いやすいレバーハンドル。ドアスコープや照明のスイッチは低めに、冷蔵庫や金庫は床面から少し高い位置に取り付けるなど、車イスのお客様の目線に立った工夫を随所に凝らしている。ハートフルルーム、身障者優先駐車場は電話かFAXでの予約が必要。入浴用イスやすすり止めマットなどの貸し出しも可能で、予約の際にお願いできる。



1階の多目的トイレ



1階入り口横にある身障者優先駐車場

マルヤードENZ外観



●「新しい鹿児島をつくろう。デパートメントからすべてをつなぐ『ユナイトメント』へ」をコンセプトに、2010年4月28日、鹿児島市中心部の天文館にオープンした。
77店舗を有する複合商業施設は、屋上・壁面を緑で覆った、鹿児島では珍しい緑化ビルだ。食・教育・芸術などをテーマにした各フロアではコミュニティギャラリーも展開し、多彩なイベントも開催している。
「利用しやすい」とお客様に好評な身障者用駐車場は、1階と3階に

車椅子のままフロアへ移動OK!!
天文館の新名所として注目の複合商業施設

マルヤードENZ

(鹿児島市)

住所 鹿児島市 呉服町6-5

TEL 099(813)8108

FAX 099(813)8088

ホームページ <http://www.maruya-gardens.com/>

開館時間 地下~3階 11:00~20:00

4階~7階 11:00~21:00

1階フロント 7:30~23:00

R階ピアガーデン 18:00~23:00 (4/30~9/30)

※日祝18:00~22:00

8階ゲストハウス 13:00~20:00

(土日祝11:00~20:00)

※8階のみ水曜定休

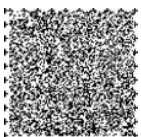
オストメイト対応型の多目的トイレ

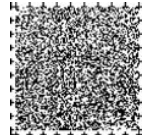


バリアフリーの1階フロア



3階の身障者用駐車場は移動に便利





鹿児島県からの お知らせ



あいらいさ障害者就業・生活支援センターについて

障害者の方々の就業及び生活の支援を行う「あいらいさ障害者就業・生活支援センター」が4月1日から業務を開始しています。

場 所 霧島市国分中央一丁目3番9号 **電話番号** 0995-57-5678

所管地域 始良・伊佐地域（霧島市、伊佐市、始良市、湧水町）

障害者就業・生活支援センターとは

就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活の支援を必要とする障害者に対し、関係機関と連携を図りつつ、身近な地域において必要な指導、助言その他の支援を行う施設です。

県内の他の障害者就業・生活支援センター

あいらいさ障害者就業・生活支援センターは、かごしま障害者就業・生活支援センター、おおすみ障害者就業・生活支援センターに続く県内3番目の障害者就業・生活支援センターです。

○ かごしま障害者就業・生活支援センター（平成15年4月設置）

場 所 日置市ゆすの里内 **電話番号** 099-272-5756

所管地域 大隅地域、始良・伊佐地域を除く県内全域

○ おおすみ障害者就業・生活支援センター（平成20年7月設置）

場 所 鹿屋市社会福祉会館内 **電話番号** 0994-35-0811

所管地域 大隅地域（鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、曾於郡、肝属郡）



Vol.20 平成22年9月30日発行

[感想をお寄せください]

鹿児島県保健福祉部障害福祉課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL.099-286-2111(内線2746) FAX. 099-286-5558

[E-mail]shougai@pref.kagoshima.lg.jp

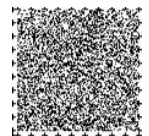
[URL]<http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/syogai-syakai/index.html>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へご連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視聴覚障害者情報センター（鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896）に備え付けてあります。

[SPコード]について

ページの隅に置かれている、四角い黒い点々を[SPコード](音声コード)といいます。この18ミリ四方の一つのSPコードのなかに、日本語で約800字のテキスト情報を格納することができ、専用の読み取り機でSPコードを読み込むと、そのページの内容を音声で読み上げることができます。なお、視覚に障害のある方にもSPコードの位置が分かるように、ページの縁に切り込みを入れています。



R100

印刷用紙は100%再生紙を使用しています